

# トヨタ班

森川直也 中野薫 石川将人 鶴原研太郎

## 1. 合同ゼミまでの準備に関する感想と反省

自分達の班は、合同ゼミのためにトヨタ自動車について調べました。7月終盤から取り組みはじめ、主に夏休みに下準備をして後期にはいってから本格的にパワーポイントなどでプレゼンの用意を始めました。

下準備の段階ではメンバーそれぞれが一通りトヨタについて調べ、夏合宿で各自が調べた事をまとめました。ここまでの段階は順調に出来ました。しかし、後期に入り本格的に作成を始めた時まだ合同ゼミまでは時間があるとあまい気持ちになり、終盤に入って、かなりあわてる場面が何度もありました。実際、プレゼンの予行演習の時には自分達の班の出来が一番悪かったです。

実際の作業も合同ゼミ前日まで終わらないという悲惨のものになりました。ただ、最後はメンバー全員のがんばりもあって、当初予定していた枚数を大幅に上回る原稿ができました。

## 2. 同ゼミにおける報告内容とそれに対する質疑の概要

自分たちに寄せられたコメント

- ・説明をもっと簡略化して欲しかった。
- ・優良企業って何？
- ・レジュメがデータを並べただけという感じがする。この論題はそもそも「どちらが優良企業か」なのであるから、データを返して何故トヨタの方が優良企業なのかを説明するという事に重点を置いて欲しかった。
- ・とても詳しく、分かりやすく調べられていた。後、時間が足りるように構成すればもっと良かった。
- ・グラフが多く使われている為、大変見やすく説得力があり聞きやすかったと思います。
- ・図を用いてのプレゼン発表は説明力のある良いプレゼンだったと思います。しかし、時間内にもっと内容をコンパクトに出来たのではないかと思います。
- ・とてもよいプレゼンだったが、時間内に納められなかったのは実に惜しい。

- ・とても細かく調べてあって良かった。パワーポイントを使っていたのでとても見やすく、分かりやすかったです。
- ・最初にグラフを用いてその後システム戦略などわかりやすく説明していたと思います。ただそれをもう少し端的に述べれば時間内に終わりもっと良いプレゼンになると思います。

このようなコメントが合同ゼミで寄せられました。そして、上記のコメントを見てみると、成功した点や問題点が浮き出てきました。

成功した点は、グラフを多く用いてプレゼンをしたため聞き手の理解が容易になったことです。問題点としては、まず時間内に終わられなかったこと、次に、グラフの説明に終始してトヨタ・ホンダの比較がおろそかになったことです。

自分達に寄せられた質問

- ・何故海外で価格の高い日本車が売れるのか？
- ・ハイブリット車生産を両社とも行っているが、どこで差別化を図るのか？
- ・北米や欧州地域で進出を先駆けていると言っていたが実際どっちが先駆けているのか？

### 3. 合同ゼミに対する感想と反省

合同ゼミに対する感想・反省として、自分達の班は前日まで作業を行っていた事もあり、一回も通して練習する事がなかったため、本番当日うまく出来るかホントに心配でした。実際、本番ではその練習不足のために何度か舌を噛んだり、つかえたりする場面が多々ありました。そして一番の反省点は、最後の最後まで作業を終える事が出来ず、原稿の内容をコンパクトにまとめる事が出来なかったため、時間内にプレゼンを終えられなかった事です。これは前出のコメントの中で一番指摘された点でもあります。

しかしながら、合同ゼミを終えてこのように報告書を書きながら思うことは、この作業・発表という作業は大変難しく辛いことではあったが、もの凄くやりがいもあると思いました。今回の成功した点は素直に喜びたいし、問題点は次に生かしたいと思いません。

最後に、合同ゼミ後に行われた懇親会では、発表しあった大学の学生たちと交流を持つことが出来たので予想以上に楽しかったです。このような機会は滅多にないのでよかったですと思います。

森川直也